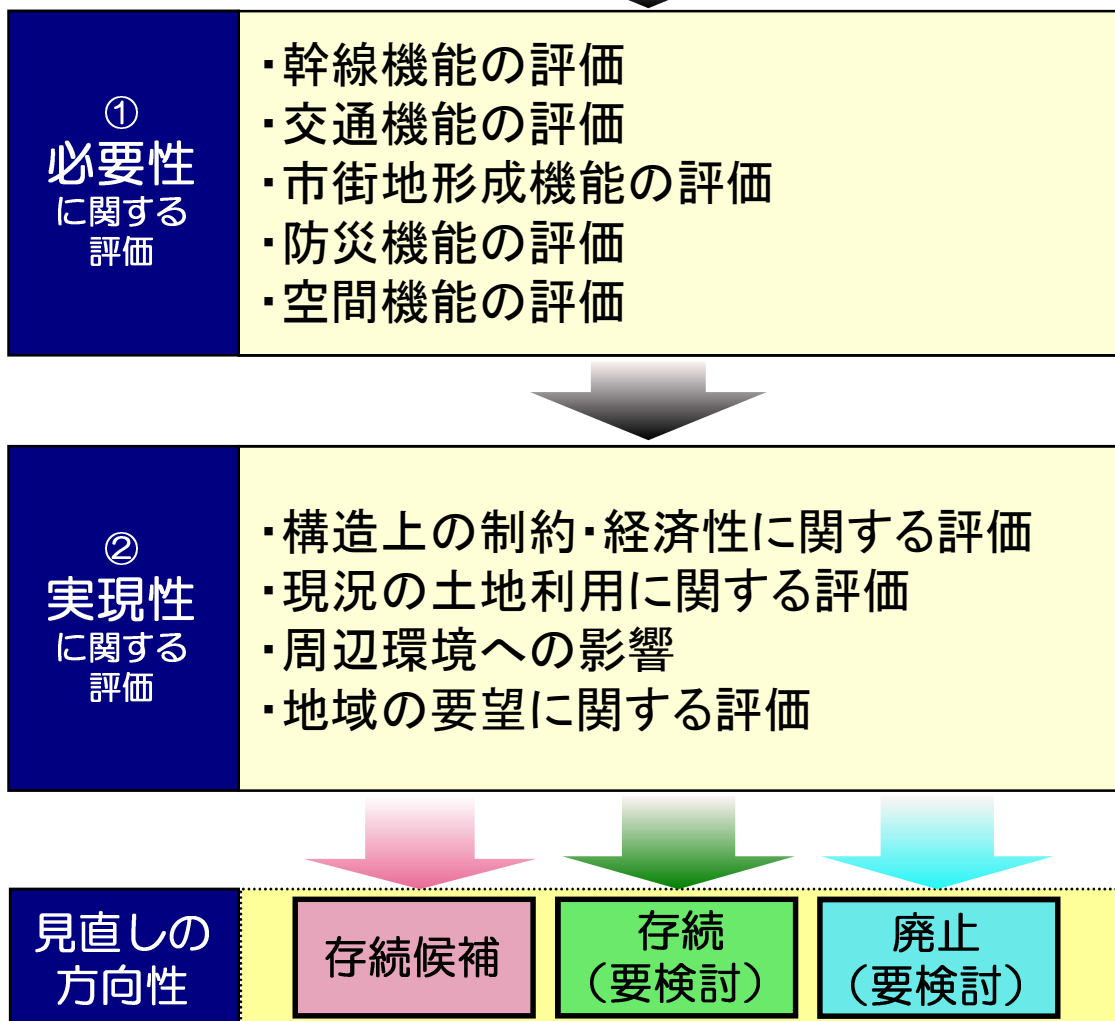


- 都市計画道路の見直しは、以下のフローを基本とし、「存続候補」、「存続（要検討）」、「廃止（要検討）」で評価。
- ①必要性に関する評価、②実現性に関する評価を経て見直しの方向性を決定。

検討対象路線（36路線）



都市計画道路の見直しの方法

「存続候補」

都市計画道路としての必要性が高い又は代替機能が確保できないなど、計画決定の継続が妥当であると判断される路線。

「存続(要検討)」

都市計画道路としての必要性は認められるものの、幅員や車線数など、現在の計画内容について見直しの検討が必要であると判断される路線。

「廃止(要検討)」

都市計画道路としての必要性が低い又は代替路線があるなど、整備を行わない場合でも地域に与える影響は小さいと考えられ、計画決定の廃止について検討が必要であると判断される路線。